

眼 科 学

教授	早坂征次
講師	加藤剛
講師	門井千春
講師	開繁義
講師(前)	平田秀樹
講師(前)	渡辺このみ
助手	矢野宏樹
助手	長木康典
助手	佐藤昭一
助手	柳沢秀一郎
助手	山田哲也
助手(前)	岩佐芳夫
助手(前)	豊田葉子
技術専門員	池田成子
	林由美子

◆ 著 書

- 1) 早坂征次: Gyrate Atrophyと類似疾患。「実践眼底疾患」湯沢美都子他編, 318-323, メディカル葵出版, 東京, 1998.
- 2) 早坂征次: 正常眼圧緑内障をどう診るか。「眼科診療プラクティス」谷原秀信他編, 37: 68-69, 文光堂, 東京, 1998.
- 3) 佐藤昭一: 偏位。「眼科診療プラクティス」丸尾敏夫他編, 40: 68-71, 文光堂, 東京, 1998.

◆ 原 著

- 1) Kato T., Hiraki S., and Hayasaka S.: Intracamerular levels of intravenously injected fluorescein, cefmenoxime, and chloramphenicol in the prostaglandin E₂-administered eyes of albino rabbits. *Ophthalmic Res.*, 30: 113-119, 1998.
- 2) Kato T., and Hayasaka S.: Methicillin-resistant staphylococcus aureus and methicillin-resistant coagulase-negative staphylococci from conjunctivas of preoperative patients. *Jpn. J. Ophthalmol.*, 42: 461-465, 1998.
- 3) 佐藤昭一, 早坂征次, 長木康典, 北川清隆, 前田宣延: Fuchs 角膜内皮ジストロフィの1家系. *眼臨*, 92: 611-613, 1998.
- 4) X.Y.Zhang, Hiraki S., and Hayasaka S.: Nilvadipine inhibits acute rise of aqueous flare and intraocular pressure induced by prostaglandin E₂ in pigmented rabbits. *Ophthalmic Res.*, 30: 135-141, 1998.

◆ 症例報告

- 1) Numata-Watanabe K., Hayasaka S., Kadoi C., and Ikeda N.: Decreased visual acuity and diplopia in a patient with Münchausen syndrome. *Ophthalmologica*, 212: 337-338, 1998.
- 2) Onozu H., Yamamoto S., Takuo K., and Hayasaka S.: Blepharoptosis in association with ipsilateral adduction and elevation palsy. A form of fascicular oculomotor palsy. *Neuro-Ophthalmology*, 19: 145-150, 1998.
- 3) Kitagawa K., Hayasaka S., X.Y.Zhang., and Yamamoto S.: Choroidal osteoma in Japanese patients. *Annals of Ophthalmol.*, 28: 319-322, 1997.
- 4) Matsumoto M., Hayasaka S., Hotta Y., Fujiki K., Fujimaki T., Takeda M., Ishida N., Endo S., and Kanai A.: Mitochondrial DNA mutations in Japanese patients with optic neuropathy unassociated with a mutation at nucleotide position 11, 778. *Journal of Human Genetics*, 43: 242-245, 1998.
- 5) Ikeda N., Katayama T., Fukuo Y., Hirata H., Hayasaka S., and Wakaki K.: Lung adenocarcinoma metastatic to the choroid: Dye laser photocoagulation and histopathologic study. *Annals of Ophthalmol.*, 30: 178-181, 1998.
- 6) Nagaki Y., Hayasaka S., Kitagawa K., and Maeda Y.: Orbital lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue in a patient with rheumatoid arthritis. *Jpn. J. Ophthalmol.*, 42: 223-226, 1998.
- 7) Nagaki Y., Hayasaka S., and Honma M.: Idiopathic sclerosing inflammation of the upper eyelid. *Ophthalmologica*, 212: 339-343, 1998.
- 8) 長木康典, 早坂征次, 開繁義: 漂着重油の回収作業者にみられた角膜障害の5例. *眼臨*, 92: 910-911, 1998.
- 9) 渡辺一彦, 藤樫美佳, 渡辺このみ, 早坂征次, 高田康光, 山本恭代: Wolfram症候群の1例. *眼紀*, 49: 176-179, 1998.

◆ 総 説

- 1) Hayasaka S., Nagaki Y., Matsumoto M., and Sato S.: Interferon associated retinop-

- athy. Br. J. Ophthalmol., 82 : 323-325, 1998.
- 2) 早坂征次, 長木康典, 松本真幸, 佐藤昭一, 門井千春, 早坂依里子: インターフェロン網膜症 - Interferon associated retinopathy - 眼科, 40 : 1163-1168, 1998.
 - 3) 松本真幸, 矢野宏樹, 豊田葉子, 池田成子, 長木康典, 張 学云, 渡辺一彦, 柳沢秀一郎, 門井千春, 山田哲也, 早坂依里子, 早坂征次: 網膜の展望 - 2) 変性疾患の部, 1997年度 - 眼科, 40 : 1667-1675, 1998.
- ◆ 学会報告
- 1) 松本真幸, 早坂征次, 堀田喜裕, 藤木慶子, 金井 淳: Leber視神経症におけるミトコンドリアDNAのsecondary mutationについての研究. 第17回金沢医科大学眼科研究会, 1998. 10, 金沢.
 - 2) 松本真幸, 早坂征次, 堀田喜裕, 藤木慶子, 金井 淳: Leber視神経症におけるmitochondrial DNAのsecondary mutationについての研究. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
 - 3) 北川清隆, 早坂征次: 病理学的に壊死組織および炎症細胞の浸潤がみられた眼瞼マダニ咬刺症の1例. 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
 - 4) 早坂依里子, 早坂征次, 渡辺このみ, 松井千尋: Generalized Hallopeau-Siemens型栄養障害性表皮水疱症の男児にみられた眼病変. 第301回金沢眼科集談会, 1998. 4, 金沢.
 - 5) 早坂依里子, 早坂征次, 渡辺このみ, 二村明広: 免疫抑制剤の減量により消退した腎移植患者のサイトメガロウイルス網膜炎. 第38回富山眼科集談会, 1998. 5, 富山.
 - 6) 早坂依里子, 早坂征次, 渡辺このみ, 松井千尋: Hallopeau-Siemens型栄養障害性表皮水疱症の男児にみられた眼病変. 第36回北日本眼科学会・第15回眼微小循環研究会, 1998 7, 新潟.
 - 7) 早坂依里子, 早坂征次, 渡辺このみ, 二村明広: 免疫抑制剤の減量により消退した腎移植患者のサイトメガロウイルス網膜炎. 第64回日本中部眼科学会・関連研究会, 1998. 10, 四日市.
 - 8) 加藤 剛, 早坂征次: 術前結膜嚢培養におけるメチシリン耐性ぶどう球菌保菌者の検討. 第102回日本眼科学会総会, 1998. 4, 福岡.
 - 9) 加藤 剛, 早坂征次, 矢野宏樹: 癍痕期未熟児網膜症に発症した網膜剥離の1例. 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
 - 10) 加藤 剛: 糖尿病に合併した白内障の治療. 糖尿病シンポジウム, 1998. 10, 富山.
 - 11) 加藤 剛, 早坂征次: 外傷性毛様体解離による低眼圧黄斑症の治療. 第39回富山眼科集談会, 1998. 11, 富山.
 - 12) 門井千春: 角膜移植の現状について. ライオンズクラブ国際協会334-D地区・1R. 2R合同四献研修会, 1998. 9, 富山.
 - 13) 門井千春: VDT作業の健康への影響. VDT作業従業者労働衛生教育要領, 1998. 7, 富山.
 - 14) 門井千春, 長木康典, 松本真幸, 早坂征次: 当科での全層角膜移植術後の視力. 第39回富山眼科集談会, 1998. 11, 富山.
 - 15) 松本真幸, 門井千春, 早坂征次, 堀田喜裕, 藤木慶子, 金井 淳: Leber視神経症におけるmitochondrial DNAのsecondary mutationについての研究. 第19回北陸先天異常研究会, 1998. 11, 富山.
 - 16) 開 繁義, 張 学云, 阿部知博, 早坂征次: 実験的眼内炎に対するCa拮抗薬Felodipineの抑制効果. 第102回日本眼科学会総会, 1998. 4, 福岡.
 - 17) 開 繁義, 張 学云, 早坂征次: 家兎実験的眼内炎に対するFelodipine (Ca拮抗薬) の抑制効果. 第18回日本眼薬理学会, 1998. 9, 大阪.
 - 18) 渡辺一彦, 開 繁義, 早坂征次: 外因性prostaglandin E₂で惹起された眼炎症性反応に対するciconidineの抑制効果. 第18回日本眼薬理学会, 1998. 9, 大阪.
 - 19) 張 学云, 開 繁義, 門井千春, 早坂征次: 実験的眼内炎症反応に対するNilvadipine (Ca拮抗薬) の抑制効果. 第39回富山眼科集談会, 1998. 11. 富山.
 - 20) 渡辺このみ, 早坂征次: 完全調節性内斜視の経過中における眼位の変化についての検討. 第27回福井県眼科集談会, 1998. 8, 福井.
 - 21) 渡辺このみ, 早坂征次: 完全調節性内斜視の経過中における眼位変化についての検討. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
 - 22) 矢野宏樹, 開 繁義, 早坂征次: 実験的眼内炎症モデルに対する葛根湯および柴苓湯の抑制効果. 第102回日本眼科学会総会, 1998. 4, 福岡.
 - 23) 矢野宏樹, 岩佐芳夫, 渡辺このみ, 早坂征次: Foville's syndromeに伴う眼球偏位に対する斜視手術の1例. 第61回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 4, 富山.
 - 24) 矢野宏樹, 開 繁義, 早坂征次: 実験的眼内炎症モデルに対する柴苓湯の抑制効果 - 用量依存性と投与期間の影響について - . 第38回富山眼科集談会, 1998. 5, 富山.

- 25) 矢野宏樹, 開 繁義, 早坂征次: 実験的眼内炎症モデルに対する柴苓湯の抑制効果—用量依存性と投与期間の影響について—. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
- 26) Yano H., Hiraki S., and Hayasaka S.: Effects of Sairei-to on Experimental Elevation of aqueous Flare in Pigmented Rabbits, 1998 The 3rd Sino-Japan Joint Meeting of Ophthalmology, 1998.11, Taipei.
- 27) 原 祐子, 中村伸男, 早坂依里子, 長木康典, 早坂征次: ポスナーシュロスマン症候群の角膜後面沈着物. 第60回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 2, 富山.
- 28) 長木康典, 早坂征次: 子宮頸癌の化学療法後に軟性白斑と網膜出血がみられた1例. 第61回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 4, 富山.
- 29) 長木康典, 早坂征次: 水晶体前面に豚脂様沈着物がみられたサルコイドーシスの1例. 第301回金沢眼科集談会, 1998. 4, 金沢.
- 30) 長木康典, 早坂征次, 柳沢秀一郎, 開 繁義, 寺西秀豊: ナシ花粉人工授粉によるアレルギー性結膜炎. 第10回花粉症研究会, 1998. 6, 富山.
- 31) 長木康典, 早坂征次: 水晶体前面に豚脂様沈着物がみられたサルコイドーシスの1例. 第36回北日本眼科学会・第15回眼微小循環研究会, 1998. 7, 新潟.
- 32) 長木康典, 早坂征次, 久保道也, 岡本 剛: 白内障術後にみられた頸動脈海綿静脈洞瘻の1例, 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
- 33) 長木康典, 早坂征次, 久保道也, 岡本 剛: 白内障術後にみられた頸動脈海綿静脈洞瘻の1例. 第64回日本中部眼科学会・関連研究会, 1998. 10, 四日市.
- 34) Nagaki Y., Hayasaka S., and Kadoi C.: Cataract Progression in Patients with Atopic Dermatitis, 1998 The 3rd Sino-Japan Joint Meeting of Ophthalmology, 1998. 11, Taipei.
- 35) 阿部知博, 長木康典, 門井千春, 早坂征次: 偽水晶体類嚢胞黄斑浮腫のステロイドパルス療法. 第39回富山眼科集談会, 1998. 11, 富山.
- 36) 早坂依里子, 長木康典, 門井千春, 早坂征次, 池田成子: 滴状角膜に閉塞隅角緑内障を合併した2例. 第39回富山眼科集談会, 1998. 11, 富山.
- 37) 佐伯明美, 佐藤昭一, 早坂征次: 血液透析中に右眼に白色斑, 左眼に滲出性網膜剥離を認めた1例. 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
- 38) 佐伯明美, 佐藤昭一, 早坂征次, 門井千春, 松本真幸, 長木康典, 早坂依里子: 血液透析中に右眼に白色斑, 左眼に滲出性網膜剥離を認めた1例. 第302回金沢眼科集談会, 1998. 12, 金沢.
- 39) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 岡田真弓, 松本真幸: 在日ブラジル人にみられた眼トキソプラズマ症. 第26回福井県眼科集談会, 1998. 1, 福井.
- 40) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 岡田真弓, 松本真幸: 在日ブラジル人にみられた眼トキソプラズマ症. 第36回北日本眼科学会・第15回眼微小循環研究会 1998. 7, 新潟.
- 41) 柳沢秀一郎, 長木康典, 開 繁義, 早坂征次, 寺西秀豊: 虫媒花ナシ花粉によるアレルギー性結膜炎. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
- 42) 山田哲也, 松本真幸, 早坂征次: 日本人小口病患者2症例にみられたアスレチン遺伝子の1147 delA変異. 第27回福井県眼科集談会, 1998. 8, 福井.
- 43) 山田哲也, 松本真幸, 早坂征次: 日本人小口病患者2症例にみられたアレスチン遺伝子の1147 delA変異. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
- 44) 塚本栄輝, 山田哲也, 門井千春, 早坂征次: 白点消失後に, ICG蛍光造影で異常所見がみられた Multiple evanescent white dot syndromの1例. 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
- 45) 篠田和男, 岩佐芳夫, 柳沢秀一郎, 早坂征次: 右眼に視神経炎, 左眼に視神経乳頭メラノサイトーマがみられた1例. 第63回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 9, 富山.
- 46) 豊田葉子, 渡辺一彦, 平田秀樹, 早坂征次: ICG蛍光眼底造影を施行したidiopathic uveal effusion syndromeの1例. 第61回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1998. 4, 富山.
- 47) 池田成子, 早坂征次: 11歳男性にみられた原田病の1例. 第64回日本中部眼科学会・関連研究会, 1998. 10, 四日市.
- 48) 池田成子, 矢野宏樹, 早坂征次: 富山医薬大における未熟児網膜症. 第38回富山眼科集談会, 1998. 5, 富山.
- 49) 池田成子, 矢野宏樹, 早坂征次, 今村博明, 宮脇利男: 富山医薬大における未熟児網膜症. 第52回日本臨床眼科学会, 1998. 10, 神戸.
- ◆ その他
- 1) 早坂征次, 長木康典: 黄疽を呈する患者の結膜

充血・浮腫と眼圧上昇への対応. 日本医事新報, No.3869 (H10. 6. 20): 96-97, 1998.

- 2) 堀田喜裕, 藤木慶子, 早川むつ子, 藤巻拓郎, 金井 淳, 真島行彦, 森 樹郎, 岡島 修, 村上 晶, 吉井 大, 田上伸子, 松本真幸, 早坂征次, 伊佐敷靖, 大庭紀雄: 我が国のコロイデミア患者におけるREP-1遺伝子の検索. 厚生省特定疾患—網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班—報告書, 63-69, 1998.

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	渡 辺 行 雄
助 教 授	麻 生 伸
助 教 授	中 川 肇
	(学内併任・医療情報部)
講 師	將 積 日出夫
講 師	浅 井 正 嗣
助 手	安 村 佐都紀
助 手 (前)	木 村 寛
助 手	伏 木 宏 彰
助 手	藤 坂 実千郎
助 手 (前)	島 岳 彦
助 手	清 水 勝 利
助 手	長 崎 正 男
助 手 (前)	大 屋 美 香
助 手 (前)	本 島 ひとみ
技術専門職員	武 田 精 一

◆ 著 書

- 1) 大谷 修, 藤坂実千郎: 扁桃. 「リンパ管」大谷 修他編, 52-56, 西村書店, 新潟, 1997.
- 2) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 清水勝利: めまい, 平衡障害のリハビリテーション. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科(増), 70(5): 59-64, 医学書院, 東京, 1998.
- 3) 渡辺行雄, 伊東宗治, 麻生 伸, 將積日出夫: 内リンパ水腫推定検査とメニエール病など内リンパ水腫の治療. 「めまい・慢性中耳炎の診断と治療」, 156-168, 真興交易医書出版部, 東京, 1998.
- 4) 渡辺行雄: 視刺激により回転感覚が発生するのはなぜか. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド」野村恭也他編, 110, 中山書店, 東京, 1998.
- 5) 渡辺行雄: 後迷路性前庭障害をどのように診断するか. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド」野村恭也他編, 116-117, 中山書店, 東京, 1998.
- 6) 渡辺行雄: メニエール病. 「今日の治療指針1999年版」, 868-869, 医学書院, 東京, 1998.
- 7) 渡辺行雄: ENG記録の見方. 「第15回日本平衡神経科学会医師講習会テキスト」, 68-75, 1998.

◆ 原 著

- 1) 中川 肇, 渡辺行雄, Hans-Christian Larsen, Matti Anniko: めまい症例における空間識の認識機能. Equilibrium Res. 57: 69-74, 1998.
- 2) 中川 肇, 渡辺行雄, 大村明彦: 耳鼻咽喉科領域の不随意運動と柿蒂湯. 漢方診療 17: 18-19,